

平成30年度 第2回八雲町民自治推進委員会 会議録（要旨）

○日 時 平成31年2月22日（金）18：30～20：30

○場 所 八雲町役場 議員控室

○出席者 東間和浩 会長、福田浩子 委員、足立美津子 委員、
吉村香代子 委員、赤井義大 委員
岩村町長、竹内企画振興課長、作田協働推進係長

1 開 会 進行～事務局

2 平成30年度八雲町自治基本条例運用状況について

（1）運用状況に関する概況の説明～事務局

3 町長との懇談

（委員）

国民健康保険の町民説明会の参加者が2名という事であれば、やる意味がないのではないか？

（事務局）

結果的に参加者が少なくやる意味がないのではないかとの意見もあるが、広く町民から意見をいただく場を設ける必要がある事から、開催しないという事にはならない。

（委員）

町民全体が対象者ではなく、国保加入者だけが対象者となるので、参加者が少ないのではないか。

（委員）

税率があがるという事は、支出が増えるということだが、意見を言っても変わるものではないという事で、参加者が少ないと思う。

（委員）

立地適正化町民懇談会については、これから具体的に進んでいく中でいろんな課題もあるしいろんな意見をいただきたいという中であっても参加者が少ないのは、どういう事なのか。たぶん、審議会の中で議論して報道もされているので、いまさら意見をいっても変わらないというイメージがあるのではないか。

（町長）

まだ相当先の話なので、あまり興味がないのではないか。中学生、高校生との懇談は別に行って様々な意見をいただいている。

（委員）

この参加者は声かけをしないでの人数なのか？

（事務局）

関係機関等に声かけをしたうえでの参加者人数となっている。

(町長)

現時点では構想の段階なので、興味がないのではないか。これから具体的な話が出てきたら色々な意見が出てくるのではないか。具体的な話が出てきたら、その都度町民から意見をいただきたいと思っている。

(委員)

11月にゲストハウスとレストランをオープンして、最近外国人が来ている。そんなにPRしているわけじゃないが、JRパスといって外国人だけが買える全国どこの新幹線も在来線も乗れるというもので、わざわざ東京から北海道に来る。新幹線が出来るともっと外国人観光客が増えると思う。

(町長)

八雲町の人口は減るけども、外国人の観光客は増えると思う。

(事務局)

外国人が来るという事は、外国語の表記やホームページもそうだがまったくしていない。そういう事は、今の段階から整備していかないといけないと思う。

上智大学の学生とワークショップをやったが、同じような事を提案された。

(委員)

来週、修学旅行生を受け入れて八雲に70名程くる。京都から高校生が来て、八雲の農家宅に民泊する。東北から北海道に修学旅行に来たいという要望が強く、新幹線駅がある地域が最近増えているので、今後修学旅行生の受け入れという可能性もあると思う。

(委員)

大阪の大学出身で農学部を卒業しているが、自分が学生の頃、友達は北海道に対するあこがれがあり、夏休みを活用して、農業体験をするために道東に行っていた。

農業体験や漁業体験を出来る場所を作って、大学などに受け入れできる事をPRしていけば人がくるのではないか。それが、地域の活性化に繋がるのではないか。

(委員)

生産者との交流は、都会の人にとって貴重な体験となり、印章を受け付ける事が出来るので、ただ物産をPRするのではなく、生産者との交流も含めたPRが重要になってくると思う。

観光客が増えると観光客を目当てに商売をやる人が移住してくる可能性もあるので、どういう形にせよ、八雲に来る人を増やしていく事が、まず第一歩だと思う。

(委員)

新幹線の計画に対する懇談会より、今もいろんな意見がでたように、観光なら観光とか分野をしばって、分野ごとに興味を持っている人たちと懇談会をしていく方がいいと思う。

その懇談会で出された意見を公表する事で、もっと意見が出るし、人も集まると思う。

パブリックコメントや意見交換会も必要だと思うが、町にはいろいろな課題があるので、いろんな町民からいろいろな意見を聞く機会や場を設けていかないといけない。

例えば、庁舎の建替えについても、そもそもなぜ建替えが必要なのかという部分より先に、

新聞等に記事が出てしまうと、もう決まったようなイメージになってしまうので、もっと積極的に情報を町民に提供していかなければならない。

(町長)

確かに色々な意見を聞くというのは大事な事である。5人以上集まればいつでも懇談会を行えるようにしているので、活用していただきたい。今後も色々な意見を聞く場を増やしていく事には努力していきたい。その中で、議会議員は町民の代表という立場になると思うので、重く受け止めているので、町民懇談会により前に、議員に報告をさせていただいている。ただ言える事は、庁舎建替に関していえば、何一つ決まっているものはない。

(委員)

庁舎の建替について、町民に一番分かり易い情報の提供方法として、いろいろなパターンを提供して、町としては、こういう理由でこのパターンだという説明の仕方が一番分かり易いと思う。

(委員)

いろんなパターンをしめすにしても、パターンを作る段階で町民の意見を取り入れていったほうが良いと思う。

(事務局)

委員が言いたいのは、基本構想作っていく段階で、その都度町民に情報提供して、意見を取り入れてほしいという事だと思う。それは来年度から2年間でやっていく事になっている。

4 閉 会